

(小学校)

# 生 活

## I 研究主題

豊かな学びを保障する生活科学習

— 「活動や体験」と「気付き」の質を高める工夫 —

## II 研究のねらい

子どもは実際に活動してみることによって何かを感じたり、考えたり、気付いたりしていく。活動や体験をすること自体が、すべての感覚を働かせることであるので、子どもにとって活動や体験が充実しているときは、より豊かな気付きが生まれ、多くのことを学んでいると言えるであろう。

よって生活科では、子ども自らが環境や他者に主体的に関わり、感じたり考えたりするような活動や体験を保障し、そこで生まれる子どもの気付きを意味付けたり価値付けたりする教師の支援が何よりも重要である。

そこで、本年度も「活動や体験」と「気付き」の質を高める工夫について考察し、豊かな学びを保障する生活科学習を目指していきたい。

## III 研究の視点

### 1 豊かな学びを保障するための単元構想

子どもが興味・関心を向ける対象、活動への思いや願い、子どもの実態などを把握し、身近な環境を繰り返し調査して教材化したり、様々な人との協力体制を整えたりしながら指導計画を作成してきた。今年度も、この指導計画を見直し、改善するとともに、一つ一つの単元をいかに構想すればよいか考え、活動や体験の充実をさらに図っていきたい。

- (1) 子どもの日常生活から生まれる課題意識を大切にしながら、単元を構想する。
- (2) これまでの学習活動を振り返り、子どもの思いや願いが連続・発展する可能性のある学習対象や学習材を吟味し、具体的な学習活動を考える。

### 2 活動や体験の質を高める学習活動

子どもの心の中にしっかりと刻み込まれる活動や体験は、子どもが対象にこだわり、やり取りを繰り返し、実感を通して関わりを深めていくことによって実現すると考える。一人一人の思いや願いを大切に、豊かにかかわることができるゆとりある時空間を保障したい。

- (1) じっくりと繰り返し対象にかかわる場を保障し、試行錯誤したり、納得いくまで追究したりすることができるようにする。
- (2) 子ども一人一人の活動への思いや願い、対象への関わり方の多様性を認める。

### 3 気付きの質を高める支援

活動や体験を通して対象とかわった子どもは、何らかのことに気付いている。その無自覚な子どもの気付きを、教師が見逃さず意味付けたり価値付けたり、友達との関わり合いの中で確かなものにさせたりすることにより、子どもの学びは豊かになっていく。

- (1) 主体的な活動や体験の中で得られた気付きを教師が見取り、丁寧にかかわることで、子

ども自身が気づきを自覚できるようにしたり、次の活動へつながる新たな課題意識を引き出したりする。

- (2) 表現活動においては、子どもの伝えたい思いや子どもにとっての必然性を大切に、自分の活動や体験について振り返って考え、次の活動へつながっていくように支援する。
- (3) 気づきを確かめ合ったり共有したり、自分にはないものを相手から学び取ったりできるように、教師と子ども、子ども相互が主体的に関わり合うことのできる時空間（自由なやり取りの場や意図的な情報交換の場）を保障する。
- (4) 子どもが自分自身のよさや可能性に気づき、自分の成長についての認識を深められるように、子どもの対象への関わり方やものの見方、考え方のよさを認め励ます。

#### 4 よさを生かし伸ばす評価

子どもの具体的な活動の姿をとらえて評価計画を作成することで、教師の子どもの見方は豊かになる。一方で、作成した枠組みにとらわれすぎて、目の前の子どもの姿を見失うことがないように十分配慮しなければならない。子どものよさを新たに見付けることによって評価観そのものが新しくなることもある。確かな教師の目を磨く視点からも多面的な子ども理解が必要である。

- (1) 単元の評価規準と、その具体的な子どもの姿を考えて評価計画を作成する。
- (2) 学習過程の様々な場面における子どもの姿を、多様な評価方法で見取り、支援に生かす。
- (3) 教師による評価、子どもの自己評価や相互評価、家庭・地域からの情報などを継続的に収集、整理する。そして、次年度の単元構想に生かす。

#### IV 留意事項

- 1 生活科の内容（1）～（9）に漏れや落ちが生じないように配慮して作成した年間指導計画を実施し、柔軟に対応しながら学習活動の見直しを進める。また、子どもの経験が生かされ発展するように2年間を見通した単元配列を考える。
- 2 子どもを取り巻く環境の変化を考慮し、安全教育や自然の素晴らしさ、生命の尊さを実感する学習活動を充実する。
- 3 幼児教育から小学校教育へと学びの連続性を保障し、スタートカリキュラムをはじめとして、生活科を中心とした合科的・関連的な指導の充実を図るとともに、第3学年以降の教科学習や「総合的な学習の時間」を視野に入れた学習の展開に配慮する。

#### 平成 25 年度に開催予定の主な生活科研究大会

- 1 第 23 回生活科夏季研究大会  
期日 平成 25 年 7 月 26 日（金） 会場 松山市男女共同参画センター（コムズ）
- 2 第 22 回全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会 京都大会  
期日 平成 25 年 11 月 21 日（木）～22 日（金）
- 3 日本生活科・総合的な学習教育学会 第 22 回全国大会 兵庫大会  
期日 平成 25 年 6 月 22 日（土）～23 日（日）
- 4 第 8 回四国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会研究大会 高知大会  
期日 平成 25 年 11 月 12 日（火）高知県南国市立岡豊小学校